

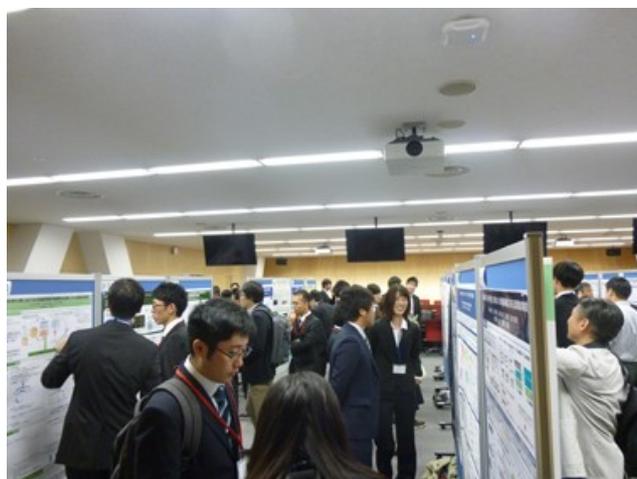
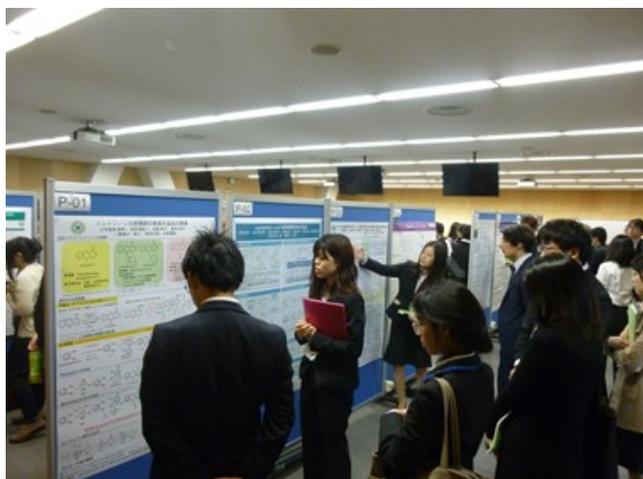
公益社団法人 日本農芸化学会 2018年度 関東支部大会

(報告者: 倉持 幸司)

日本農芸化学会関東支部 2018 年度大会は、10 月 13 日(土)に東京理科大学で開催されました。関東全域から 合計 211 名の方に参加いただきました。

ポスター発表と口頭発表はカナル会館 3 階の大会議室で行いました。

10 時半に支部長の浅見忠男先生から開会の辞を頂きました。10 時 35 分から 12 時 25 分までポスター発表が行われました。ポスターの発表件数は 79 件 (うち優秀発表賞のエントリーは 35 件)で奇数・偶数の演題に分かれ、各 55 分間のディスカッションタイムの中、活発な討論が行われました。



昼食をはさんで、13 時 40 分から口頭発表の前半 8 件(うち優秀発表賞のエントリーは 7 件)が行われました。発表はほぼ予定通りに進行し、15 時 25 分に休憩に入りました。休憩後、15 時 40 分から口頭発表の後半 7 件(うち優秀発表賞のエントリーは 2 件)が行われました。前半後半それぞれ発表 10 分、質疑応答 2 分の合計 12 分の短い発表時間ではありましたが、たいへん興味深い発表と活発な質疑討論が行われました。最後に、倉持(開催校幹事)から閉会の挨拶をさせていただき、支部大会は予定通りに終了しました。



JSBBA KANTO

支部大会終了後、17時30分からカナル会館1階の食堂で懇親会が行われました。一般32名と学生68名、あわせて100名が参加しました。懇親会では、和やかな雰囲気の中、活発な議論と情報交換が行われました。会の半ばに、学生会員が発表者である講演を選考対象とした優秀発表賞の授賞式が行われました。関東支部の幹事の先生方と農芸化学の各分野から選出された選考委員によってポスター発表部門5名、口頭発表部門5名が選ばれました。学会長の佐藤隆一郎先生から各受賞者に賞状と副賞が授与されました。



大会前日まで秋の長雨が続いており、天候が心配されましたが、当日は雨が降らず、盛況のうちに終了することができました。予想をはるかに上回る参加者211名(一般62名、学生149名)の方々にご参加いただき、研究討論、親睦を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができました。

末筆ではありますが、発表者ならびに参加者の方々、支部大会の開催、運営にご協力いただきました皆様に深く感謝を申し上げます。